

「中小企業には IT 投資は無理だ。」なんて思っていないですか？

2004/06/25 平山経営事務所

IT 投資（情報化投資）と聞くと、「高額な投資が必要」、「効果が見えない」、「高価なソフトが思うように使いこなせない。」など、多くの意見を聞きます。はたして何処に問題があるのでしょうか。

今回は、そんな「IT 投資の課題と対応策」についてまとめます。

1. 高額な投資は必要か？

新聞やコンピュータ専門誌には、大手企業や官公庁の大規模のシステムの導入、開発事例が花を飾り、中小企業には縁遠いもののように映ります。

しかし、IT 化の波は中小企業の周辺に確実に押し寄せています。

身近なところでは、ホームページを使ったインターネットショッピングや電子入札、会計ソフトや在庫管理ソフト、POS なども IT の応用です。

そうです、これらのほとんどは安価なパソコンとソフトがあれば利用できるのです。

ただし、これだけでは投資が十分に回収できるとはいえません。

いろいろな手段で入手し、また発信した情報を連携し、分析し如何に経営に活かすかで、投資効果は大きく変わります。

2. 効果が見えにくい理由

もうひとつ、IT 投資が高額に見える原因は、IT 投資の効果が見えにくいことによります。効果が見え難い理由には次のような原因があります。

- ・効果をどのように評価するか、事前の検討をしないまま投資した。
- ・IT 導入の効果と無関係の項目を評価項目にしていた。
- ・直接測定したり、評価することが困難な項目を評価項目にした。

3. コンピュータが使いこなせない？

せっかく導入したコンピュータやソフトが上手く活用出来ていないことも多くあります。何故でしょうか？

- ・機能が必要以上に多く、操作が複雑で現場が使いこなせない。
- ・ベンダーのサポートが悪く、問題の解決に時間がかかる。
- ・現場の意見を十分に聞かずに導入した。

など、様々な失敗事例があります。

システムの導入には、公正な現状の把握と、現場の実態を考慮した実行可能な計画が不可欠です。

このような「IT 化」を自社のみで進めることは、効率的ではありません。

平山経営事務所では、「経営に貢献する IT 化」を経営戦略から現場まで含めて支援致します。